

THE TERRACE HOTELS

Sustainability Report 2023-2024

当社はお客様に「自然との調和、自然への回帰」をコンセプトとしたライフスタイルを提供してきました。
今を創り、そして未来へと続く「持続可能な社会」を実現していく、CSR活動について
2023年～2024年にかけての新たなあゆみをご報告いたします。

市民共創で守り育てる、プセナの美しいサンゴ群落



当社のサンゴ礁保全への取り組みについて

世界の海洋面積の0.1%に過ぎないサンゴ礁海域には、海洋生物全体の約4割の種が生息すると言われています。近年、そのサンゴ礁が地球温暖化や海水の酸性化などにより失われつつあるため、当社は以下の活動を行なっています。

1. サンゴ礁再生研究

- ・海水温上昇に対応した、高水温に強いサンゴ種の育成と植え付け
- ・より多くの人に参加できる、簡易的なサンゴ植え付け方法の開発
- ・環境DNAを用いたサンゴ礁のモニタリング技術の開発（OIST連携）



2. サンゴ礁体験プログラム

- ・海洋プランクトンと出会い、海洋生物の基本を学ぶプログラム
- ・浜辺の生き物と触れ合い、多様性を育む環境について理解するプログラム
- ・サンゴ礁保全の実践プログラム



沖縄の豊かな海の力を生かしたウェルネスステイと、滞在後も続けられるライフスタイルをご提案



ザ・テラスクラブアットプセナでは、海がもたらす豊かな恵みを取り入れた海洋療法、タラソテラピーを軸に、運動・食事（栄養）・休養のバランスのとれたウェルネスステイをご提案し続けています。

ホテル滞在中は、タラソプログラムやリラクゼーションだけでなく、健康に必要な食の提案など、トータルでゲストの健康をサポートし、滞在後も続けられるストレッチなどのレッスン動画をご用意し、ホテルでの体験だけでは終わらない、ウェルネスライフのご提案を行っています。



海洋生物の多様性の保全に向けた取り組み、世界海洋デー特別メニュー「La Mer-ラ・メール-」



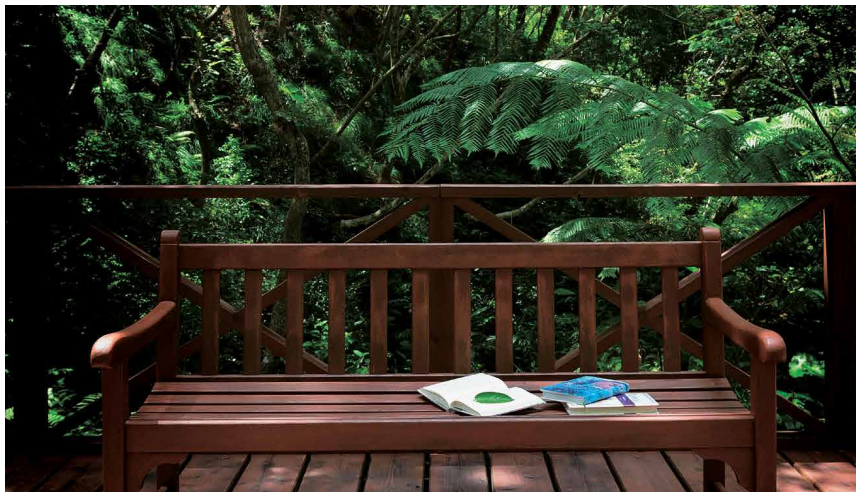
ジ・ウザテラス ビーチクラブヴィラズが加盟する「ルレ・エ・シャトー」が提唱する、海洋生物多様性の保全に向けた取り組みに賛同。

同組織が掲げる2024年のテーマ「#SOSforbiodiversity」に沿い、絶滅危惧種レッドリストに記載されるすべての種を外した持続可能な漁獲を目指す食材を用いたメニューを期間限定で提供しています。

持続可能な魚介と、地元沖縄の食材やホテル自家農園で育てた無農薬・自然栽培の野菜を駆使した、新たな料理をご提案いたします。



豊かな自然環境保持への取り組み、沖縄県Co2認証制度への取り組み



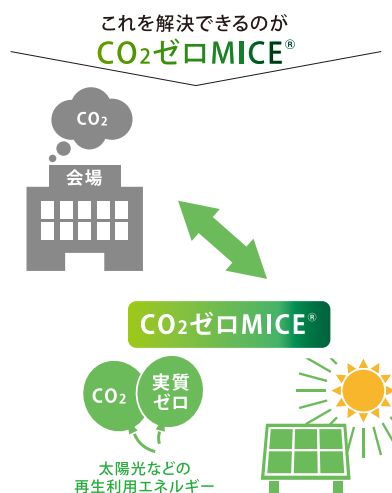
ジ・アッタテラス クラブタワーズは、ザ・ナハテラス及びジ・ウザテラス ビーチクラブヴィラズに続き「令和5年度沖縄県CO2吸収量認証制度」の認証をいただきました(46,627kg-co2)。

同ホテルでは、2020年より養蜂へ着手。汚染されていない自然の中でしか生きられないミツバチを育てることで。蜜源植物が豊富に育ち、清らかな水が流れる沢があり、北風から守るように木々が育つアッタの森で、今日もミツバチたちは、蜜と季節の甘い香りを運びます。



グリーンMICE推進活動

ザ・テラスホテルズが指定管理を担う万国津梁館では、当施設内において会議などのMICEを実施する際に、その会場で使用される電力を再生可能エネルギーに置き換えることで、Co2を実質ゼロにする活動を推進しています。



同活動にご協力いただいたお客様（個人および法人）には、グリーン電力の持つ「環境価値」を証書化した「グリーン電力証書」を発行しております。ご協力いただいた費用は、再生可能エネルギー発電設備の維持・拡大に利用され、同証書の取得により、記載された電力量（KW）相当分の再生可能エネルギーの普及に貢献し、環境に優しいグリーン電力を利用したものと見なされます。



食材を余すことなく使いきるアップサイクルと、シェフの想い



ザ・ナハテラスでは食品ロス削減に力を入れており、アップサイクル商品の開発としてオリジナルラスクを販売しています。また、従業員食堂を自営し従来廃棄されている端材や販売しきれなかった商品をメニューへ活用しています。

ザ・ブセナテラスは、大型宿泊施設を運営するために生じていた食品ロスへの取り組みを開始。昨今の市場で安定して食材仕入れを行うことは難しく、旬な食材だったものが鮮度が落ち、やむを得ず冷凍しデッドストックになるという問題に着目し、ロスになる食材自体を削減する取り組みとして、「固定しないメニュー」を提案しています。その時ベストな食材を、シェフの目利きで必要な分、仕入れを行い、食材を余すことなく使いきり、お客様にもベストな状態で楽しんでいただき口福を感じていただきたいという、シェフたちの願いが込められています。



人材育成・成長支援「自分らしく成長する」をサポート

質の高いホスピタリティマインドと高度なサービス技術に裏打ちされた真のホテルイェ育成を目指して、さまざまな研修プログラムを用意しています。自己啓発のサポートを行い「個人の成長」を刺激し続けます。



さまざまな研修だけでなく、発表の場を設け、調理コンテストや料飲サービスコンクール、また、料飲部門のスタッフのみでなく他の部署でも、カクテルへの知識や技術を深めたいスタッフがエントリーできるカクテルコンペティションを開催しています。コンテスト当日だけでなく、事前練習から上司や先輩社員がサポートします。





12 つくる責任
つかう責任

廃棄物

使い捨てのミニボトルに入ったシャンプー類は提供していない
(ザ・ブセナテラス)

有害廃棄物が安全に処理および処分されている

レセプションデスクやバックオフィスで、ペーパーレス化を導入している

ペットボトルは、100%リサイクルのPET樹脂を使用している

使い捨てのプラスチック製コップやお皿は使用していない



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに

エネルギー・温室効果ガス

80%以上の照明がエネルギー効率の良いLED電球を使用している

電動モビリティの使用、電気自動車の充電設備がある

今年のエネルギー使用量が前年比で5%以上削減されている

エネルギー効率の良い電化製品を設置・使用している

ベジタリアン・ビーガンメニューを用意、もしくはリクエストベースで提供している

自家農園・自家菜園を運営している

太陽光発電を取り入れている(ザ・ナハテラス)

給湯や温水プールへ自家発電で発生する排熱を活用している
(ザ・ブセナテラス)



自然環境

敷地内に緑のあるスペースがある

造園において、干ばつに強い植物が使用されている

造園において、在来種の植物を優先し侵略的外来種を避けている

雨水を集めて、景勝池に使用している(万国津梁館)

水のリサイクル(中水)の活用

サマースクールなど、地域の自然や文化と観光客を繋ぐ取り組みを行っている

サンゴ礁再生研究・移植事業を行っている(ブセナ海中公園・OISTと連携)

6/8世界海洋デーへ参加(ジ・ウザテラス ピーチクラブヴィラス)

*レッドリストに登録されている絶滅危惧種の保護をテーマにしたメニューの提供

アニマルウェルフェアへの配慮、平飼いたまごの使用など(ジ・アッタテラス クラブタワーズ)

食品ロスへの対策、サステナブルなオリジナルメニューを提供している



水

水を効率的に利用したトイレを設置している

水を効率的に利用したシャワーを設置している

毎日の清掃不要を希望する選択肢を提供している

タオル交換不要を希望する選択肢を提供している



地域・現地コミュニティ・安全性

収益の一部を、社会事業やサステナビリティ事業に投資している

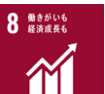
地元のガイドや事業によるツアーやアクティビティを提供している

現地のアーティストに向け、披露の場を提供している

現地の生態系や文化の情報やマナーの情報を提供している

地域ボランティア活動や清掃活動への参加

職場体験やインターンシップの受け入れ



ひと・安全性・成長

従業員に対して、健康・安全に関するトレーニングを提供している

社員のスキルアップを手助けする研修を行っている

- 調理コンテスト、料飲サービス及びカクテルコンクールの開催
- 1年目~8年目のキャリアフォローアップ研修、管理者研修
- サービススキルアップ講習、サービス介護研修
- 語学研修、海外ホテル研修(フランス、ハワイ等)
- 外国人技能実習生の受け入れ(生活指導員、学習と生活支援)

障がい者雇用率について、法定雇用率以上の水準を維持

リモートワーク導入等による多様な働き方の促進

DXや機械導入による業務の効率化・負担の軽減を推進

うちなー健康経営宣言へ参画

ウェルネスツーリズムへの取り組み(ザ・テラスクラブ アットブセナ)

食の多様性の推進、アレルギーやグルテンフリー表記

サンゴ礁の海を未来へつなぐ、ザ・テラスホテルズのこれからの取り組み

当社は、これからも海をはじめとした沖縄の自然環境を守りながら豊かなライフスタイルを提供し続けることを目的に、2024年4月「ザ・テラスネイチャー財団」を設立しました。当財団は現在、ブセナ岬におけるサンゴの移植や保全活動、宿泊ゲストや地域の子どもたちへサンゴ保全の取り組みについて講習活動を実施するほか、沖縄県慶良間諸島・阿嘉島にある阿嘉島臨海研究所（AMSL）の運営を継承。AMSLは世界で初めて「サンゴの有性生殖」を確立したことで国内外の多くの研究者にも知られており、環境省が毎年実施するサンゴ礁のモニタリング調査に20年以上協力しているほか、沖縄科学技術大学院大学（OIST）のサンゴプロジェクトにおいては環境DNAによる調査に協力するなど、さまざまな公的機関と連携をしながらひととサンゴ、サンゴ礁の生き物たちを結びつける活動を推進しております。



現在、ブセナ岬におけるサンゴの移植や保全活動、また、ご宿泊のお客様や地域の子供たちへのサンゴ保全の取り組みの講習活動を行っていますが、今後はOISTなどと連携した、慶良間の生物多様性を守るための技術開発を行なっていきます。

阿嘉島では、サンゴ礁をフィールドとした研究所と全12室のゲストルームを合わせた新しい施設を開業します。阿嘉島という自然環境が守られてきた、美しい豊かな海が広がる環境で、エコツーリズムと、より本格的なSDGsへの参加が可能な環境をご提供できる予定です。